

平成 20 年度 事業報告

自 平成 20 年 4 月 1 日

至 平成 21 年 3 月 31 日

社団法人日本グラススキー協会

平成 21 年 5 月 15 日

< JGSA 事務局 >

〒270-0014 千葉県松戸市小金 335 E-309

TEL047-309-7001FAX047-309-7002

www.grass-ski.or.jp info@grass-ski.or.jp

概況

1 設立年月日 昭和60年 4月 1日 法人認可年月日 平成5年 11月 9日

2 定款に定める目的

「この協会はグラススキーの普及、技術の向上を通じて国民の体力の向上、余暇生活の充実をめざし、青少年から熟年に至る幅広い層の人たちの健全な精神と健康を享有するに資することを目的とする」

3 定款に定める事業内容

- (1) グラススキーの普及及び振興
- (2) グラススキーの競技規定の制定
- (3) グラススキーの全日本選手権大会、世界選手権大会、その他の競技会、研修会、講演会の開催及び後援
- (4) グラススキーの指導者・審判員の養成及び認定
- (5) グラススキーの競技施設・用具の認定
- (6) グラススキーの技術の認定
- (7) 国際スキー連盟グラススキーコミッティーへの役員の派遣並びに国際競技会への役員及び選手の派遣
- (8) 競技記録の認定及び管理並びに表彰
- (9) グラススキーに関する調査・研究・ビデオの作成及び出版物の刊行
- (10) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4 所管官庁に関する事項

文部科学省 スポーツ青少年局 生涯スポーツ課

5 会員の状況

種類	正会員	ジュニア会員	一般会員	総数
当期末	40	53	105	198
前期末比増減	-4	-21	+1	-9

*ジュニア会員減要因=ジュニア大会参加資格変更(会員以外の参加可)

6 主たる事務所

〒270-0014 千葉県松戸市小金 335 エステート E309

TEL047-309-7001 FAX047-309-7002

URL : www.grassski-or.jp Mail : info@grassski-or.jp

7 役員等に関する事項

役職	氏名	現職（元職）	勤務状況
総裁	高円宮憲仁親王妃久子殿下		非常勤
会長	竹鶴 威	ニッカウヰスキー(株)相談役	非常勤
副会長	小林 英夫	(株)アルピオン代表取締役会長	非常勤
副会長	盛田 英夫	盛田アセットマネジメント(株)取締役会長	非常勤
副会長	池上 三紀	財)全日本スキー連盟 専務理事	非常勤
専務理事	三島木 和晴	林化学工業(株)代表取締役社長	非常勤
常務理事	藤田 洋一	事業及事務局統括	常勤
常務理事	豊野 智広	リッチフィールド(株)	非常勤
常務理事	根岸 一之	有)松井造花店専務	非常勤
常務理事	飛鳥井 匠哉	有)ダイチ	非常勤
理事	奥園 和幸	代理店経営	非常勤
理事	佐々木 峻	天山リゾート代表取締役社長	非常勤
理事	吉永 博人	自営業	非常勤
理事	江口 文之	美馬市職員	非常勤
理事	有泉 勝利	(有)マート有泉	非常勤
理事	高橋 浩之	(有)ハートリゾート	非常勤
理事	斎藤 英樹	日建創業(株)	非常勤
理事	今村 昭二	(株)石原出版	非常勤
監事	井田 敏夫	(株)井田企画代表取締役社長	非常勤
監事	塚田 耕一	盛田アセットマネジメント(株)社長	非常勤

事業の状況

1. 事業の実施状況

普及及び振興（第1号事業）

<体験会・講習会>

- ・ステップアップ2008（講習会・体験会・トレーニング会6月～9月）

会場：法華嶽公園・サンパーク都留・斑尾高原・七ヶ宿・アップ神辺 参加数 93名

- ・森林公園グラススキー体験会開催（4月～10月 7日間開催）

会場 埼玉県滑川市 武蔵丘陵森林公園 特設会場 参加数 380名

- ・九州グラススキー体験会 4月～3月

会場 石山観音公園グラススキー場他 用具貸し出し（講師派遣）を実施

<広報普及活動>

- ・公式メーカーの協力による普及を目的としたグラススキー用具販売
- ・ホームページを利用した情報発信、一般紙、新聞他情報誌への情報提供、
- ・イベント告知ポスターの製作及び配布・競技会、体験会講習会取材対応他

競技規定の制定（第2号事業）

- ・ FIS（国際スキー連盟）との連携による FIS 競技規則変更提案及びワーキンググループメンバー派遣
- ・ JGSA 競技規則の制定、管理の実施

全日本選手権大会、世界選手権大会、その他の競技会研修会、講演会の開催及び後援（第3号事業）

< 第15回高円宮杯グラススキー・ジャパンオープン・第24回全日本グラススキー選手権 >
会場 徳島県 美馬市 中尾山高原グラススキー場

日程 10月16（木）～10月19日（日）

総裁高円宮妃殿下のご臨席を仰ぎ、開催地美馬市との共催事業として、全国からの参加者は勿論、イタリア2名、イラン3名、台湾6名が参加しての国際大会として開催。大会、競技両運営とも関係各部署のご協力により成功裡に終了
実行委員会（3月23日解散）においては式典運営、競技運営、選手サポートと全面的に協力いただいた。

< JGSA（B級）公認大会の開催 登録クラブ主管にて5戦開催 >

（七ヶ宿 FIS 公認1戦・天元台 JGSA 公認3戦・都留 JGSA 公認1戦）

特例：天元台スキー場 2試合分の助成実施

< 第4回都留市ジュニアグラススキー大会 >

スポーツ拠点づくり推進事業実施（10年以上継続予定） 対象：小・中・高校生

会場 山梨県都留市 都留グラススキー場 日程 8月22日（金）～24日（日）

財）地域活性会センター助成事業として開催し全国各地（7ブロック）から60名を超えるジュニア選手が参加

都留市・サンパーク都留 GSC 他の協力により成功裡に終了

男子1名（齋木選手）女子1名（中澤選手）を2009年 FIS チルドレン代表として選考

< 第23回全日本テクニカル選手権 >

会場 群馬県 AKAGI 芝 SPORTS 日程 9月20日～21日

中野聡（DLWH）渡部秀文（七ヶ宿）芦田直哉（斑尾高原）矢野誠（サハ^ル都留）

飯塚俊直（DLWH）新谷起世（DLWH）をデモンストレーターとして認定

< 計測機材使用 > 都留ジュニア大会、七ヶ宿大会、全日本選手権、高円宮杯にて使用
指導者、審判員の養成及び認定（第4号事業）

< 研修会 > 法華嶽公園・サンパーク都留・斑尾高原・七ヶ宿・アップ神辺にて実施

< インストラクター検定会 > 会場 群馬県 AKAGI 芝 SPORTS 9月20日

インストラクター（アシスタント）検定会実施 受験者8名 合格6名

競技施設・用具の認定（第5号事業）

- ・ 全国6施設の JGSA 公認認定及び国際スキー連盟公認コース申請・継続公認スキー場・非公認スキー場への行事案内（大会・講習会ポスター送付）
- ・ 公認（協力・登録）スキー場の JGSA HP・主催行事での紹介
- ・ 3メーカーの公式用品認定（一般ユーザーに対するの MATERIAL 紹介）

技術の認定（第6号事業）

- ・インストラクター検定・オフィシャルテスト・ジュニアテストの実施
JGSA 主管にてインストラクター検定会、オフィシャルテスト・ジュニアテスト実施
サンパーク都留 GSC 主管にてオフィシャルテスト・ジュニアテスト実施
AKAGI 芝スポーツ主管にてオフィシャルテスト実施
受験者数 61 名

国際スキー連盟グラススキーコミッティへの役員の派遣並びに国際競技会への
役員及び選手の派遣（第7号事業）

- <ジュニア世界選手権・スイス>7月28日～8月6日（監督 藤田洋一）
派遣規定を基準に新谷大地（中尾山高原）齋藤久美（天元台JR）の2選手を派遣
齋藤久美 大回転・回転4位入賞新谷大地 SC6位・回転6位入賞（日本人男子初）
- <チルドレンキャンプ・スロバキア> 8月3日～10日（監督 渡部秀文）
志村直樹（サパ-ク都留・中学2年）中澤歩里（天元台JR・中学1年）を派遣
国際交流、国際試合の経験、入賞を成し遂げて帰国

（プレ世界選手権・オーストリア）

- 新谷 起世（DLWH）飛鳥井匠哉（DLWH）の2選手が自費参加
新谷起世選手が回転優勝の快挙を成し遂げた

<国際会議への派遣>

- 10月スイス開催 FIS 会議、TD 研修会への出席
2011年世界選手権会場として日本立候補（2011年スイス決定）

競技記録の認定及び管理並びに表彰（第8号事業）

- 公認大会選手（登録選手）ポイント管理及び一般会員、有資格者管理
ジュニアテスト・オフィシャルテスト他検定会技術認定者の管理

グラススキーに関する調査・研究・ビデオの作成及び出版物の刊行（第9号事業）

- 専門委員にて活動内容検討会実施

その他この法人の目的を達するために必要な事業（第10号事業）

<組織整備強化>

- 管官庁、諸団体との関係維持につとめ、文部科学省・独立行政法人、財団法人への、
協力依頼、調査依頼への対応、会議研修会・説明会への出席、申請等の実施
公益法人サポートセンターよりの指導、新規公益法人法研修会等への出席

<事務局運営規則の整備>

- 平成20年4月21日諸規定整備承認（5月20日所管官庁への報告）

<財務体質改善>

- 法人税均等割（県税・市税）の還付 短期借入金返済

2. 重要な契約に関する事項

- みずほ銀行よりの短期借入金（1,300万円）の返済（平成20年9月9日）
（9月18日所管官庁への報告 借入残高0円証明提出）

3. 役員会等に関する事項

- < 第17回理事会 社員総会 > 平成20年4月21日開催
平成19年度事業報告・収支決算及び平成20年度事業計画・収支予算他
- < 第18回理事会 社員総会 > 平成21年3月17日
平成21年度事業計画・収支予算他
- (第19回理事会 社員総会) 平成21年5月15日
平成19年度事業報告・収支決算他

4. 収支及び正味財産増減の状況並びに財産状況の推移

事業年度	平成17年 3月期	平成18年 3月期	平成19年 3月期	平成20年 3月期
前期繰越 収支差額	2,220,051	1,716,936	2,418,604	300,744
当期収入 合 計	13,322,044	11,971,058	11,396,881	11,933,415
当期支出 合 計	13,825,159	11,269,390	13,514,741	12,331,159
当期収支 差 額	503,115	701,668	2,117,860	397,744
(備考)	事業内容再構築 世界選手権		新規事業開始 世界選手権	
次期繰越 収支差額	1,716,936	2,418,604	300,744	903,000
資産合計	39,775,491	22,714,088	20,610,137	21,387,671
(備考)		固定資産除		
負債合計	13,009,819	13,035,484	13,035,484	14,224,671
正味財産	26,765,672	9,678,604	7,574,653	7,163,000

法人の課題

- グラススキーの更なる普及と振興
- 公益認定申請及び承認
- 2013年世界選手権開催に向けた選手強化

本事業報告書は原本と相違ありません
社団法人 日本グラススキー協会
会長 竹鶴 威